

旭川市科学館報

— 令和4年度版 —

Vol.15

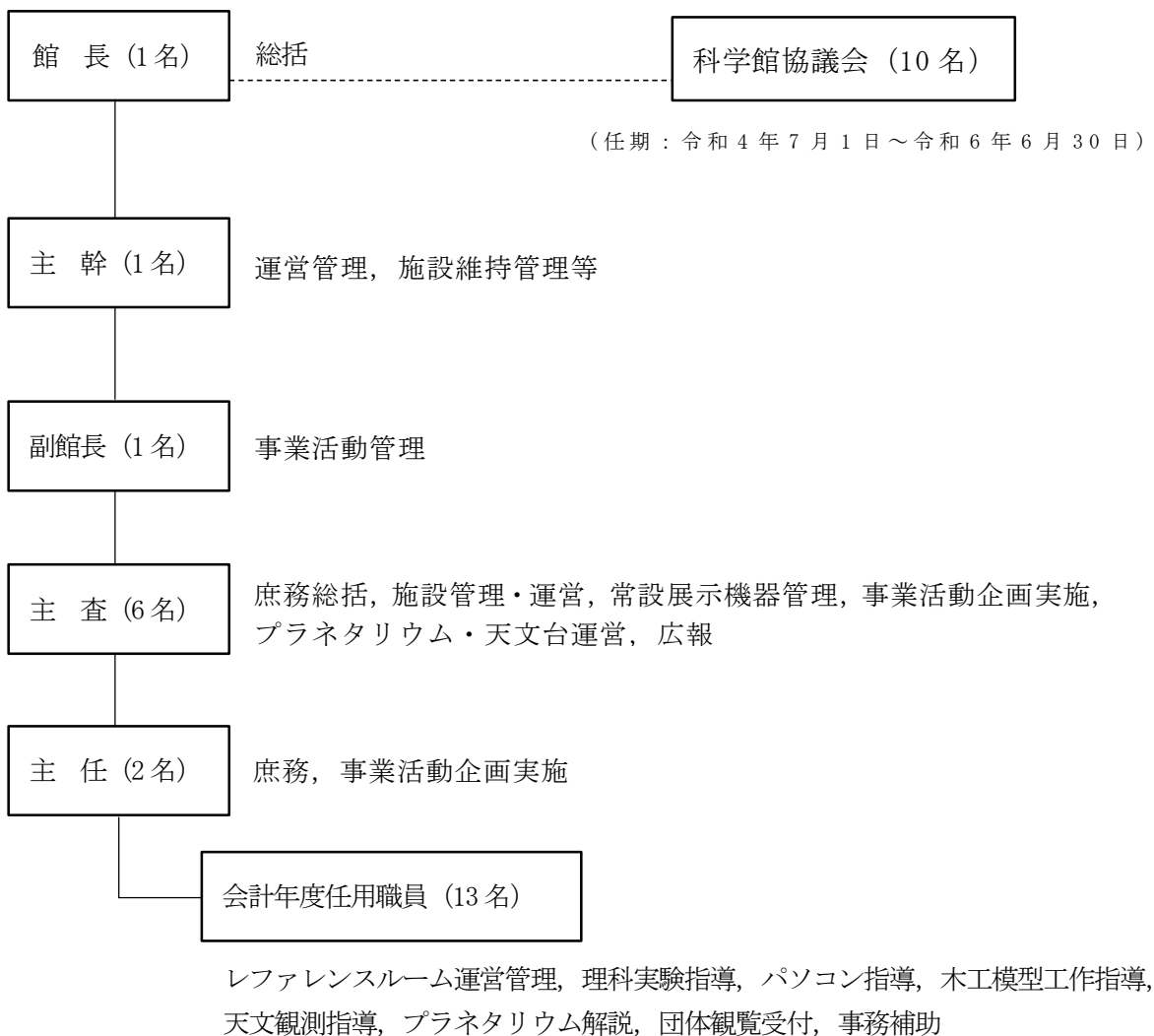
令和5(2023)年



目 次

運営組織及び職員数	1
I 旭川市科学館の概要	
1 考え方	2
2 沿革	2
3 施設概要	3
4 主要設備等	4
5 利用状況	6
II 学習普及活動	
1 展示事業	7
2 実験実習事業	8
3 科学イベント・行事	12
4 天文普及事業	15
5 学校等連携・人材育成事業	19
6 ボランティア事業	20
III その他の取組	
1 調査研究活動	22
2 刊行物	22
3 広報活動	23
4 旭川市科学館施設整備基金	24
IV 旭川市科学館利用案内	
1 開館時間・休館日	24
2 観覧料	25
3 貸室事業	26
4 施設へのアクセス	27

運営組織及び職員数



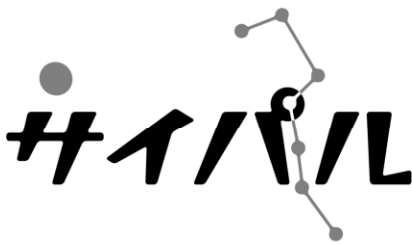
科学館職員 計 24 名
(令和5年4月1日現在)

I 旭川市科学館の概要

1 考え方

現在、気候変動に伴う災害の増加や人為的な要因も含む生物多様性の損失など、私たちの生活と深く関係している様々な課題が、地球規模で発生しています。そうした課題に対応していくためには、科学の分野の枠を超えた、柔軟な発想をもつ人材の育成が必要とされています。

旭川市科学館「サイパル」では、様々な科学に関する情報を伝え、科学への関心や理解を深めるため、「ふしぎからはじまる<科学>との出会い」をテーマに、物理学、化学、生物学、地学など、あらゆる自然科学分野を対象とした多彩な学習普及活動を進めています。



旭川市科学館の愛称「サイパル」の由来

「サイパル」とは SCIENCE（科学）と PAL（仲間、友達）を組み合わせた言葉です。

また、様々な科学の彩りに出会える絵の具を散りばめたサイエンスパレットの略です。

新しい科学館の建設地の北彩都（きたさいと）あさひかわの「彩」もイメージしています。

科学に親しみ、科学を通して交流の輪が広がってほしい。そんな願いが込められています。



旭川市科学館
マスコットキャラクター
「コロック・クル」

地球上初めての生命「単細胞」が集まる様子をモチーフに、古くから欧米では「学問の神様」として扱われアイヌの人たちには「森の守り神」として敬愛されたフクロウを組み合わせた架空のキャラクターです。

コロック・クルは、アイヌの伝承に登場するコロポックルからネーミングされました。

2 沿革

- 昭和38年11月 3日 旭川市青少年科学館が旭川市常磐公園に開館
- 平成17年 1月30日 新築移転のため閉館
- 平成17年 7月 4日 博物館登録原簿に登録（登録記号番号：北博登録53号）
- 平成17年 7月23日 旭川市科学館「サイパル」
として現在地に移転，開館
- 平成17年 8月13日 入館者 10万人を達成
- 平成18年 5月 4日 入館者 50万人を達成
- 平成19年 8月10日 入館者100万人を達成
- 平成23年 3月13日 入館者200万人を達成
- 平成26年11月 9日 入館者300万人を達成
- 平成27年 7月23日 新館開館10周年
- 平成30年 7月15日 入館者400万人を達成
- 令和 2年 7月23日 新館開館15周年
- 令和 3年 2月25日 旭川市科学館施設整備基金「サイパル☆みらい基金」設置



3 施設概要

旭川市科学館は「北彩都あさひかわ」シビックコア地区に位置し、神楽岡公園や忠別川河畔林などの豊かな自然に囲まれ、のびのびとした空間で自然科学を学ぶことが大きな特徴です。

館内では多くの方が利用する常設展示室や特別展示室、プラネタリウムなどを1階に、実験実習室などを2階に、大小2基の天文台を4階に配置し、子供から高齢者、ハンディキャップを持つ方々など、誰もが使いやすいユニバーサルデザインの考え方を取り入れています。

また、シンボル展示「水竜」や、国際家具デザインフェア旭川コンペティション入選作品など優れた地場木製家具の「旭川家具」を配置し、特色ある空間づくりにも配慮しています。

敷地内には、鳥や昆虫などを観察できる野外自然観察空間を設けているほか、屋外に雪室棟を設置し、冬期の駐車場の排雪を利用して夏期の消費電力を抑える雪冷房システムを導入するなど、環境に配慮した取組を行っています。

・所在地	旭川市宮前1条3丁目3番32号
・敷地面積	27,099.65 m ²
・延床面積	5,799.60 m ² (車庫棟・雪室棟を除く)
・構造	鉄筋コンクリート造, 一部プレストレストコンクリート造, 鉄骨造4階建
・総事業費	48億1,432万3千円 (用地購入費, 一部外構工事等除く)

(1) 各室の内訳

1階	常設展示室 (1,600 m ²)	[4 (1) 常設展示室] 参照 (P4)
	特別展示室 (187 m ²)	展示会やイベントを開催
	プラネタリウム (570 m ²)	[4 (2) プラネタリウム] 参照 (P5)
	学習・研修室 (156 m ²)	126席, 各種視聴覚機器
	インフォメーション	観覧受付
	エントランスホール	シンボル展示, 休憩コーナー等
	ミュージアムショップ	科学グッズ等の販売
	事務室ほか	—
2階	パソコン実習室	パソコンを使った学習など
	電子工作室	電子機械工作などの実習
	理科実験室・準備室	物理・化学などの実験実習
	木工模型工作室・作業・準備室	木工・模型工作実習など
	レファレンスルーム・準備室	[4 (4) レファレンスルーム] 参照 (P6)
	休憩コーナー	南東・北西の角に設置 (2か所)
	空調機械室, 熱源機械室等	※一般開放スペースなし
3階	発電機室	※一般開放スペースなし
4階	天文台 (90 m ²)	[4 (3) 天文台] 参照 (P5)
屋外	駐車場・駐輪場	一般車両76台, 大型バス6台 身障者用駐車場5台, 自転車100台
	エントランス広場, 円環広場	休憩・昼食場所, 野外での実験実習スペース
	野外自然観察空間 (約5,000 m ²)	在来種の雑木林, トンボ池, 2基の野外展示など

4 主要設備等

(1) 常設展示室

北国・地球・宇宙をテーマとした全 47 点の体験型の展示物、科学に関する 2D・3D 映像を上映するサイエンスシアターを設置。

		テーマ	展 示 名		
展 示 物		北国 (全 8 点)	■ 氷河期と海面変位 ■ ナダレンジャー ■ 水滴のダンス	■ 虫の目から見た自然 ■ 北国の天気 ■ 低温実験室	■ 雪の結晶 ■ 旭川ズームイン!
		地球 (全 33 点)	■ 身体ズームイン ■ 人体スキャン ■ 風をおこそう ■ 電磁サークル ■ 光のサッカー ■ 光の三原色 ■ バーチャルフライト (休止中) ■ ボディーアタック ■ 雲をつくろう ■ 地球環境問題クイズ ■ 温暖化から地球を救え ■ 三つも錯覚が含まれるふしぎな輪 ■ いまの地球とみらいの地球	■ 内臓パズル ■ 消化器のはたらき ■ ロボットサッカー ■ 手さぐりの通路 ■ ジャンボシャボン ■ 影で遊ぼう ■ 地震体験 ■ 対流をみよう! ■ 燃料電池のしくみ	■ 呼吸のしくみ ■ 生命の誕生 ■ ボールコースター ■ 錯覚の部屋 ■ 空中スクリーン ■ スピードガン ■ 火山をつくろう ■ 人類の進化 ■ 大陸移動 ■ ふらふら UFO ■ 錯覚いろいろコーナー
		宇宙 (全 6 点)	■ ムーンジャンプ ■ 星の回転運動	■ 宇宙ゴマ ■ 宇宙飛行士になろう	■ 月の満ち欠け ■ クイズスペース 1
サイ エ ン ス シ ア タ ー	3 D	北国	■ 雪の結晶	■ 大雪山の成り立ち	■ エゾモモンガ
		地球	■ 巨大台風	■ オーロラ その神秘に迫る	■ 氷河と地球温暖化
		宇宙	■ 宇宙ステーション ■ 毛利さんと飛ぶ宇宙から見た水の惑星	■ 暗黒ブラックホール	
	2 D	北国	■ 石狩川夢の旅人		
		地球	■ 謎の深海底		
		宇宙	■ テラフォーミング ～地球から火星へ～		

※上記のほか、常設展示室内にキッズコーナーを併設している



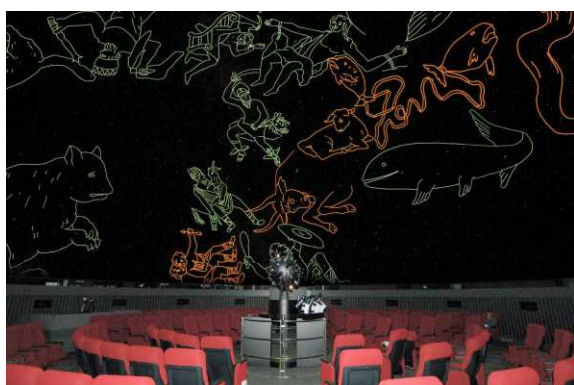
常設展示室



錯覚いろいろコーナー

(2) プラネタリウム

面積	670 m ² (客室 232 m ² , ロビー 228 m ² , プロジェクションギャラリー 112 m ² , その他 98 m ²)
ドーム	直径 18m, 水平型・平面床 170 席 (うち固定席 73 席, 一部回転席 64 席, 2 人掛けシート 10 席, 車椅子スペース用移動席 23 席)
投影機	コンピュータ制御, 光源・光ファイバー式スターマスター ZMP (カール・ツァイス社製), 全天周ドーム映像装置など付設
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・生解説によるマニュアル投影 ・国内初のコンピュータ制御式カール・ツァイス社製投影機 ※導入当時 ・同心円配列の座席としては, 国内初の回転可動式座席採用 (一部)



スターマスター ZMP (カール・ツァイス社製)

(3) 天文台

位置	北緯 43 度 45 分 23 秒 東経 142 度 22 分 13 秒 標高 143m
面積	173 m ² (大天文台 50 m ² , 小天文台 19 m ² , 準備室 20 m ² , その他 84 m ²)
大天文台	ドーム直径 8m, 口径 65 cm カセグレン式反射望遠鏡 (三鷹光器製) 及び付属望遠鏡 2 基設置, 光電測光装置・バリアフリー接眼装置付設, コンピュータコントロール方式, 遠隔操作・観測画像配信システム
小天文台	ドーム直径 5m, 口径 20 cm 屈折望遠鏡 (三鷹光器製) 及び太陽ビデオ撮影機能付属望遠鏡 2 基設置, 太陽投影板・太陽用 H α フィルター, 太陽用ビデオカメラ・バリアフリー接眼装置付設, コンピュータコントロール方式, 遠隔操作・観測画像配信システム
観測デッキ	口径 10 cm の移動式天体望遠鏡や双眼鏡を使って広範囲の星空を観察



天文台設備

(4) レファレンスルーム

設置・使用目的	各科学分野に関する自習スペースとして開放するとともに、生物・地学分野の観察・実習活動の場として活用
備付け備品類	走査電子顕微鏡(係員が立会で使用)、双眼顕微鏡、その他各種観察・実験器具
備付け資料など	科学関係図書・DVD等、植物・昆虫・鉱物標本、動物・野鳥・昆虫・植物の写真ファイル、昆虫などの生体ほか

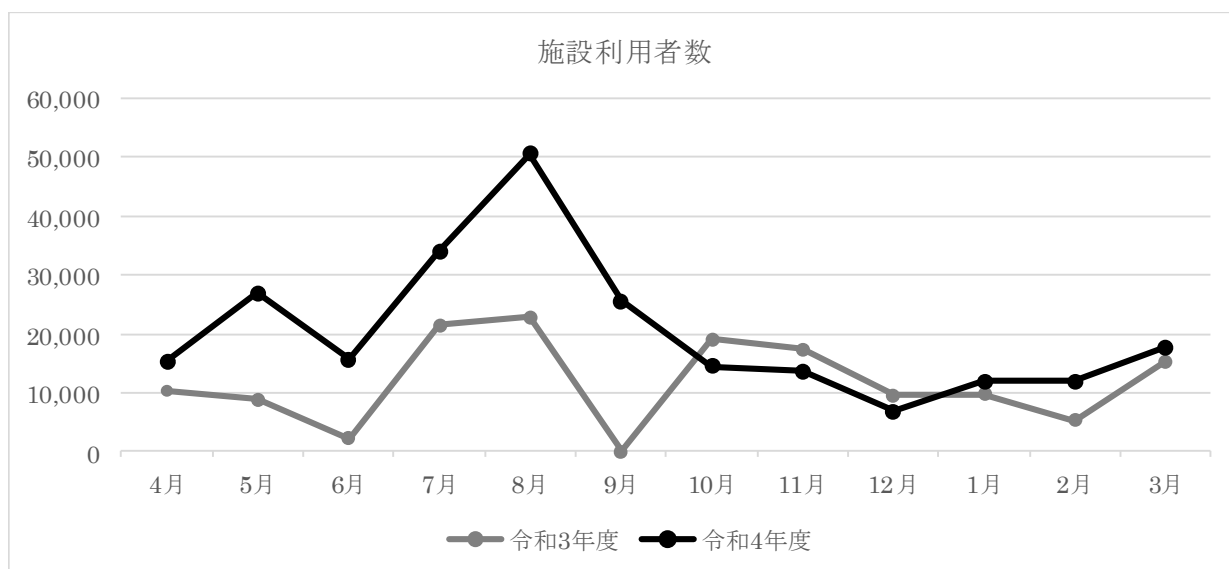
5 利用状況

(1) 施設利用者数 (令和4年度)

(単位：人)

内訳 月	常設展示室	プラネタリウム	天文台	レファレンス ルーム	事業活動等 参加者	その他	合計	令和3年度
4月	6,075	3,062	1,218	1,088	3,659	158	15,260	10,350
5月	10,507	5,108	2,045	1,800	7,445	49	26,954	8,910
6月	6,512	2,930	1,013	997	4,256	28	15,736	2,291
7月	11,623	5,087	1,520	1,724	14,003	6	33,963	21,472
8月	16,694	6,932	1,666	2,555	22,724	0	50,571	22,833
9月	9,016	3,911	1,245	1,323	9,965	0	25,460	0
10月	6,498	3,403	890	1,092	2,563	56	14,502	19,066
11月	6,220	2,816	903	1,186	2,381	69	13,575	17,298
12月	3,095	1,853	359	593	1,005	66	6,971	9,572
1月	4,503	2,253	450	941	2,845	926	11,918	9,804
2月	3,713	1,828	430	810	4,356	854	11,991	5,320
3月	7,937	3,850	1,520	1,511	2,715	107	17,640	15,450
合計	92,393	43,033	13,259	15,620	77,917	2,319	244,541	142,366

※日平均入館者数 794人/日 (開館日数：308日)



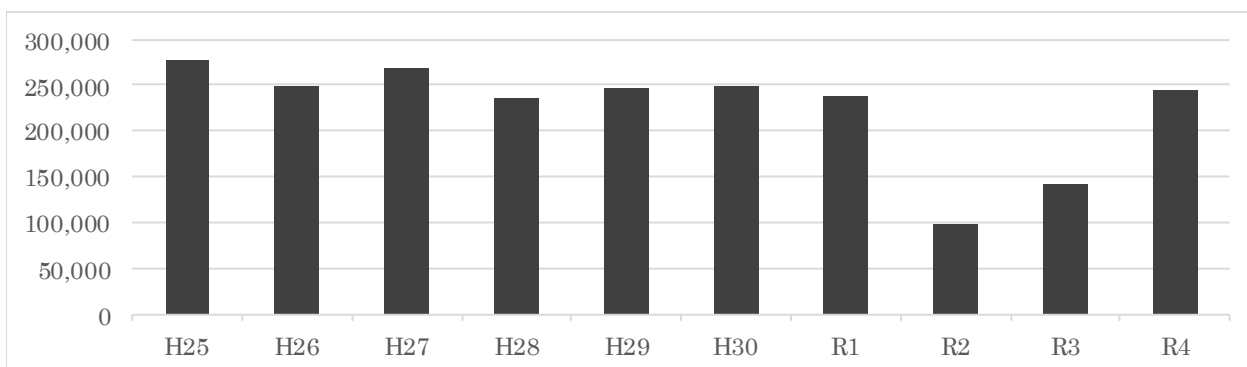
(2) 施設利用者数の推移

(単位：人)

内訳 年度	常設展示室	プラネタリウム	天文台	レファレンス ルーム	事業活動 ・その他	合計	備考
H25	120,877	62,656	16,667	15,380	61,166	276,746	6月～9月無休開館
H26	110,264	54,242	13,420	17,142	54,500	249,568	〃
H27	113,324	49,491	15,163	19,110	70,161	267,249	〃
H28	100,312	46,873	13,350	17,568	56,555	234,658	〃
H29	100,421	38,131	12,877	20,283	74,425	246,137	〃
H30	100,536	38,582	12,316	21,112	76,441	248,987	〃
R1	89,232	34,099	13,074	20,974	80,026	237,405	7/23～9/1 無休開館
R2	45,552	20,438	7,916	9,076	14,901	97,883	※1
R3	56,492	28,278	8,756	11,480	37,360	142,366	※2
R4	92,393	43,033	13,259	15,620	80,236	244,541	7/20～9/4 無休開館

※1 新型コロナウイルス感染拡大防止のため4/20～5/24 臨時休館

※2 新型コロナウイルス感染拡大防止のため5/18～6/20, 8/20～9/29 臨時休館



II 学習普及活動

1 展示事業

(1) 常設展示利用者数

(単位：人)

区分 月	個人					団体					合計
	大人	高校生	小人	その他	小計	大人	高校生	小人	その他	小計	
4月	2,787	94	2,574	261	5,716	0	34	187	138	359	6,075
5月	4,401	88	3,586	273	8,348	35	0	1,879	245	2,159	10,507
6月	2,374	65	1,870	209	4,518	33	0	1,613	348	1,994	6,512
7月	4,583	86	4,279	353	9,301	0	47	1,763	512	2,322	11,623
8月	7,731	195	7,035	530	15,491	2	0	929	272	1,203	16,694
9月	4,030	58	3,166	323	7,577	0	0	1,062	377	1,439	9,016
10月	3,018	59	2,326	212	5,615	56	0	610	217	883	6,498
11月	3,173	42	2,523	193	5,931	23	0	213	53	289	6,220
12月	1,415	29	1,024	120	2,588	31	0	373	103	507	3,095
1月	2,015	32	1,853	184	4,084	0	0	346	73	419	4,503
2月	1,908	34	1,536	157	3,635	0	0	59	19	78	3,713
3月	3,726	117	3,341	271	7,455	0	0	370	112	482	7,937
合計	41,161	899	35,113	3,086	80,259	180	81	9,404	2,469	12,134	92,393

※「その他」は観覧料免除者(手帳所有者若しくは要介護者とその介助者, 引率者等)

(2) 特別展「恐竜ワールド～探検して学ぶ恐竜時代～」

【開催概要】

アロサウルス・ティラノサウルスの恐竜ロボット、ケラトサウルス生体復元モデル等により動的・視覚的な体験をメインとした「恐竜探検ゾーン」と、カマラサウルス産状骨格や恐竜の鳴き声・食べ方実験装置など恐竜の研究室を疑似体験する「恐竜ラボゾーン」の2会場構成で開催した。

関連事業として、小林快次氏（北海道大学教授）を講師に招きトークライブを開催したほか、恐竜をテーマとした工作やGPSクイズに参加できる「恐竜ワークショップ」を実施した。

- ・主 催 企画展開催実行委員会
(旭川市教育委員会, サイエンスボランティア旭川, 旭川市小学校長会, 旭川市中学校長会)
- ・会 期 令和4年7月16日(土)から9月25日(日)までの72日間
カムイサウルス全身骨格の展示 令和4年7月5日(火)から10月2日(日)までの90日間
- ・入場者数 35,227人
- ・参加者数

実施事業	参加者数	開催日
恐竜ワールド展示室	20,970人	7/16～9/25
ワークショップ	4,072人	—
恐竜消しゴム	553人	7/19～9/21
ボランティア組み合わせ工作	240人	7/21～9/22
木工	227人	7/22～9/16
GPSで探検!恐竜ワールド	3,052人	7/16～9/25
カムイサウルス全身骨格	10,185人	7/5～10/2

2 実験実習事業

(1) 講演・講座

ア 市民科学講座「サイエンス・セミナー」

	講師	内 容	参加者数	開催日
第1回	小林快次 旭川市科学館顧問 北海道大学教授	恐竜ハカセのトークライブ	102人	7/17
第2回	渡部潤一 旭川市科学館顧問 国立天文台特任(上席)教授	「1930年に現れた謎の流星群を追う」	64人	12/4
第3回	馬場悠男 旭川市科学館顧問	「人類進化の謎を解くのはDNAか?化石か? ～ペーボ博士のノーベル賞受賞にちなんで」	41人	1/22
第4回	竹村 眞一 京都芸術大学教授	「いまの地球とみらいの地球」	15人	3/10
第5回	北岡明佳 立命館大学 総合心理学部教授	サイエンスセミナー 錯覚いろいろ 錯視博士の講演会 ～錯視工作+錯視講演会～	51人	3/25

イ その他の講演・講座

内 容	参加者数	開催日
野鳥講演会(中止)	—	—

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和4年度は開催中止

(2) 実験実習・体験講座

ア 科学館クラブ

	クラブ名	内 容	対 象	参加者数	開 催 日
前期	星・宇宙	季節の星座や一等星, 惑星の解説と望遠鏡による観測	小3～中学生の親子	84人	5月～9月の土・日 (5回)
	理科	実験, 工作, 観察	小3, 小4	92人	5月～7月の木・日曜日 (4回)
	木工クラフト	木工品の設計から加工までの一連の作業を学び, 旭川家具に触れる	小5～中学生	51人	5月～7月の日曜日・祝日 (9回)
	電子工作	電子工作と電気通信の体験	小4～小6	109人	5月～9月の木・土曜日 (8回)
	パソコン	教育用プログラミング言語を使って, プログラミングの考え方を学ぶ	小5, 小6	113人	6/5～9/11の日曜日 (7/17～8/14を除く)
	実験	実験, 工作, 観察	小5, 小6	39人	5月～7月の日曜日 (4回)
後期	星・宇宙	季節の星座や一等星, 惑星の解説と望遠鏡による観測	小3～中学生の親子	64人	1月～3月の土・日 (5回)
	理科	実験, 工作, 観察	小3, 小4	70人	10月～12月の日曜日 (5回)
	電子工作	電子工作と電気通信の体験	小4～小6	62人	10月～2月の土曜日 (8回)
	パソコン	教育用プログラミング言語を使って, プログラミングの考え方を学ぶ	小5, 小6	39人	11/6～2/11の日曜日 (7/17～8/14を除く)
	実験	実験, 工作, 観察	小5, 小6	33人	10月～12月の日曜日 (5回)
通年	いきもの地球	生物の捕獲や観察の体験を通して生態系や地球環境について学ぶ	小4～小6	65人	5月～翌3月の土・日曜日 (8回)
冬期	理科	実験, 工作, 観察	小3, 小4	69人	1月～3月の日曜日 (5回)
	実験	実験, 工作, 観察	小5, 小6	71人	1月～3月の日曜日 (5回)

イ 親子でチャレンジ! わくわく実験室

内 容	対 象	参加者数	開 催 日
親子で簡単な実験実習を体験	小1, 小2と保護者	144人	5月～7月の土曜日 (4回)
		178人	10月～12月の土曜日 (5回)
		156人	1月～3月の土曜日 (5回)

ウ こども科学博士

内 容	対 象	参加者数	開 催 日
恐竜のレプリカをつくろう	年長～小6 (小3以下は保護者同伴)	38人	7/18
ゆらゆらトプスをつくろう	小1～小3と保護者	38人	7/23
恐竜バスボムをつくろう	年中～小1と保護者	36人	7/31
ビー玉の万華鏡	年長～小6 (小3以下は保護者同伴)	38人	12/24
ぐるぐる回転皿をつくろう	小1～小3と保護者	40人	1/7
ザ・ダイナソー	年中～小3と保護者	38人	1/9

エ ちょっと大人の科学実験

内 容	対 象	参加者数	開 催 日
ウイスキーを蒸留して消毒液を取り出す実験	中学生以上	8人	10/1
燃焼と炎色反応	中学生以上	5人	12/17

オ パソコン基礎講座

内 容	対 象	参加者数	開 催 日
はじめてのWord講座	大人のパソコン初心者	22人	7/16, 17
インターネット基礎編		12人	9/19
写真画像編集編		11人	10/10
はじめてのExcel講座		16人	2/11, 12
ホームページ活用編		8人	3/12

カ はじめてのスマートフォン講座

内 容	対 象	参加者数	開 催 日
主な使用が通話やメールに限られている初心者に、用語や基礎スキルを学ぶ機会を提供	大人のスマートフォン初心者	14人	7/2, 1/28

キ 親子ではじめるプログラミング講座

内 容	対 象	参加者数	開 催 日
プログラミングアプリ「ビスケット」を使用し親子でプログラミングの基礎を学ぶ	小1・小2と保護者	58人	7/31, 12/25
プログラミングアプリ「スクラッチ」を使用し親子でプログラミングの基礎を学ぶ	小3・小4と保護者	122人	7/23～25, 1/7～9

ク マイクロビットであそぼう

内 容	対 象	参加者数	開 催 日
パソコンで作成したプログラムを「マイクロビット (マイコンボード)」に転送する電子工作で、プログラムと工作物の反応の関係を楽しむ	小5, 小6	3人	2/19, 2/26, 3/5

ケ 中高生のためのプログラミング教室「Python 入門講座」

内 容	対 象	参加者数	開 催 日
プログラミング言語「Python」の基礎から 応用までを学ぶ	中学生・高校生	63 人	8/6～11/12 の土曜日

コ 地学体験学習

内 容	対 象	参加者数	開 催 日
鉱物カードづくりと『砂』の観察	小学生以上	6 人	5/28
河原で石拾い&石磨き	小学生以上	22 人	7/2
化石採取会	小学生以上	31 人	7/10, 7/16
アンモナイト化石の中を調べよう	小学生以上	20 人	7/29, 8/5
アンモナイトクリーニング体験	小4 以上	18 人	8/12
旭川層の観察	小学生以上	9 人	9/4
地学体験バスツアー	小学生以上	17 人	9/11
ビスマス結晶づくりと蛍光鉱物の観察	小学生以上	33 人	10/6, 11/26
岩石の分類と観察	小学生以上	20 人	2/26

(3) ものづくり教室

内 容		対 象	参加者数	開 催 日
市民木工教室	3段引き出し付き小物入れの製作	高校生以上	10 人	9/3, 4
	木の鞆の製作		14 人	11/5, 6
親子 木工 教室	とんとん編	小1, 小2と 保護者	46 人	7/24, 31
			30 人	12/25
	ぎこぎこ編	小3, 小4と 保護者	24 人	8/11
			22 人	1/8
ジュニア木工教室	ミニ工具箱を作ろう	小5～中学生	6 人	8/7
	ゴム銃セットの製作		10 人	1/7
工作, きほんの 「き」	接着剤の歴史	小3～大人	6 人	10/9
	ネジの歴史		26 人	12/4
糸のこ体験工作	木のキーホルダー作り など	どなたでも	712 人	8月(2回) 1～3月(16回)
テック・ラボ	オープンラボ	小学生以上	990 人	通年
	工作ワークショップ	小5 以上	39 人	4/10, 5/15, 6/12, 7/10, 8/14, 9/11, 10/9, 12/11, 2/12, 3/12
	初歩の電子工作	小3, 小4	77 人	5/14, 8/6, 10/30, 1/8
	キッズ電子工作	小4～中学生	36 人	7/30, 10/8, 12/18
	親子の電子工作	小1～3	86 人	5/29, 8/7, 11/13, 2/4
	趣味の電子工作	高校生以上	14 人	5/21, 9/24, 11/27, 1/29
	たいけんラボ	小学生以上	272 人	通年

(4) 自然観察会・自然体験学習

内 容	対 象	参加者数	開 催 日
トンボ池の観察	小学生と保護者	18人	6/25
特定外来生物ウチダザリガニを捕まえよう	小学生以上	93人	7/17, 8/20, 9/10
水辺のいきもの観察	小学生以上	21人	7/30
サケ遡上観察会	小学生以上	20人	10/23
冬の自然観察会	小学生以上	10人	2/25
シロザケ稚魚観察会	小学生以上	(中止)	3/12



特定外来生物ウチダザリガニを捕まえよう



サケ遡上観察会



冬の自然観察会

3 科学イベント・行事

(1) 科学イベント

ア サイエンススタジオ

内 容	参加者数	開 催 日
ゴールデンウィーク特別サイエンスショー ドラム缶つぶし	1,312人	4/29～5/5

イ サタデーサイエンスひろば

内 容	参加者数	開 催 日
月毎にテーマを変え公開実験ショーを実施	4,334人	土曜日(計49回)

ウ 低温実験

内 容	参 加 者 数	開 催 日
氷点下 30℃の低温実験室で、過冷却水やダイヤモンドダストの観察実験等を実施	1,604 人	土日祝日及び長期休暇期間(計 135 回) ※休館日を除く

エ 科学館まつり

内 容	参 加 者 数	開 催 日
常設展示室・プラネタリウム無料観覧と各種無料体験ブース (参加人数 292 人は事業実施分。常設展示室等の無料観覧や、天文などはそれぞれの事業に含まれる)	292 人	11/3

オ わくわくワーク (※はサイエンスボランティア旭川による実施)

内 容	参 加 者 数	開 催 日
色が突然変わる不思議な液体を作ろう (※)	28 人	11/26
スライムハンド	22 人	12/3
ガウスの加速器 (※)	58 人	12/10
手のひらでイカを焼こう!	34 人	12/17
ルービックキューブの並べ方 (※)	10 人	1/21
落ち葉で標本作り	10 人	1/28
リサイクル電池の作成 (※)	11 人	2/4
色が見えるコマを作ろう	29 人	2/11
冬の星座プラネタリウムを作ろう (※)	13 人	2/18
コマの不思議	22 人	2/25
色のひみつ (※)	8 人	3/4
ふしぎな楽器テルミン	25 人	3/11

カ ミニミニ展示

内 容	参 加 人 数	開 催 日
シロザケ生態展示	1,324 人	10/4~11/6
“Sphere” × “ダーウィンが来た!” コラボコンテンツ試験展示	392 人	3/16~3/31

キ おうちでサイパル

内 容	参 加 者 数	開 催 日
おうちでできる簡単な実験や工作をパッケージングして配付し、 コロナ禍でも手軽に体験できる機会を提供	13,300 人	4/1~9/16

※令和 4 年 9 月 16 日で在庫を全て配布したため終了

ク 科学館 de SDGs

内 容	参 加 者 数	開 催 日
常設展示「いまの地球とみらいの地球」のデジタル地球儀を用いて、 環境問題をはじめとした地球規模の様々な課題から SDGs について説明する 演示を実施	721 人	4/1~翌 3/31 (指定された日)

(2) 各種行事

ア 科学の夢の図画コンクール

科学的な探求心と想像力を伸ばし、科学に対する親近感を助長させることを目的とした、旭川市内の小中学生を対象とした科学の夢を描いた図画作品のコンテスト。

【応募者数】 小学生 8 人, 中学生 10 人

【優秀作品展示会】 10/19～23 【来場者数】 217 人

【特別賞受賞者表彰式】 10/23 【出席者数】 42 人

イ 「宇宙の日」全国小・中学生作文・絵画コンテスト

小・中学生に宇宙や天文について夢と興味を持ってもらうことを目的とした、「宇宙の日」記念行事として開催される作文・絵画作品のコンテスト。

【応募者数】

・作文の部 小学生 1 人 中学生 応募なし

・絵画の部 小学生 3 人, 中学生 7 人

【表彰式】 12/18 【出席者数】 16 人

ウ 科学技術週間行事（「一家に1枚」ポスターの配布）

科学技術の理解促進を目的とした文部科学省監修による学習資料『ガラス 人類と歩んできた万能材料』を自由に持ち帰ってもらえるよう、4月19日(火)から館内に配置。

エ 科学技術映像祭入選作品上映会

科学技術映像祭入選作品の一部を、開館時間中にエントランスホールにてリピート上映。

【期間】 休館日を除く土日祝および長期休暇期間

【上映作品】

- ・NHK スペシャル タモリ×山中伸弥 超人たちの人体～アスリート 限界への挑戦～
- ・チャンネル4 腎臓を待つ 移植手術をめぐる家族の選択
- ・ガリレオX 活用進む！ 国産木材森林資源をどう使い、育てるか
- ・「おおすすめ」打ち上げ50周年記念 日本の宇宙開発の歩み 軌跡～TRAIL～
- ・NHK スペシャル 被曝の森 2021 変わりゆく大地
- ・まてりある's eye 2021 ～SDG's 素材の力 三部作～
- ・結晶ができる瞬間をカメラで捉えた！
- ・フシギなTV 昨日と今日のあなたは違う！？
- ・日本のチカラ とうちゃんは茅葺師～北アルプスの麓の村の1年～
- ・Atteindre le ciel 空をめざして ?アンリ・ファルマン機と挑戦者たち?
- ・どう防ぐ？ 児童虐待 体罰は必要なのか
- ・絶景！合計30GB以上の3Dデータで太陽系をしてみる
- ・重力波望遠鏡KAGRA 時空のゆがみで宇宙を暴く

オ 共催・協力事業

内 容	共催・協力先	参加者数	開 催 日
蛇紋岩の石磨き体験	旭川市社会教育課	7人	4/29
ミクロの不思議展－電子顕微鏡で見たからだの世界－	旭川医科大学解剖学講座	1,110人	5/24～6/17
ありがとうの架け橋を繋げよう未来へ	繋ぐのは命プロジェクト	58人	5/29
わくわくサイエンス in 科学館	旭川ウェルビーイングコンソーシウム	636人	6/19
えいちゃん先生のジオで発見！大雪山	大雪山カムイミンタラ ジオパーク構想推協議会	33人	7/16, 9/17
私たちの身の回りの環境地図作品展	環境地図教育研究会	194人	10/29～10/30
ドローン・測量体験	道北若力会	444人	11/3
ヒグマフォーラム	ヒグマの会	120人	11/19
わくわくサイエンス in 科学館	旭川ウェルビーイングコンソーシウム	636人	2/5
大雪山カムイミンタラ ジオフェスティバル	大雪山カムイミンタラ ジオパーク構想推協議会	2,432人	2/12
紙飛行機ロボット等の展示	旭川工業高等専門学校	927人	3/25～3/31

4 天文普及事業

(1) プラネタリウム事業

天文知識の啓発・普及を目的に、旭川の空に見える季節の星座を紹介する一般番組を中心に、学習番組投影、幼児番組投影、イベント的な特別投影を展開している。

ア 観覧者数

(単位:人)

区分 月	令和4年度					前年度	団体観覧	
	大人	高校生	小人	その他	小計		団体数	観覧者数
4月	1,501	71	1,276	214	3,062	1,911	9	243人
5月	2,321	39	2,516	232	5,108	1,716	12	981人
6月	1,279	35	1,372	244	2,930	443	21	729人
7月	2,089	50	2,558	390	5,087	5,000	44	1,109人
8月	3,297	89	3,139	407	6,932	4,797	22	583人
9月	1,850	31	1,687	343	3,911	0	25	672人
10月	1,665	28	1,458	252	3,403	3,820	25	567人
11月	1,516	12	1,143	145	2,816	3,438	11	192人
12月	936	20	772	125	1,853	2,054	13	331人
1月	1,037	16	1,066	134	2,253	1,586	13	320人
2月	1,022	18	695	93	1,828	911	2	59人
3月	1,914	61	1,655	220	3,850	2,602	9	308人
合計	20,427	470	19,337	2,799	43,033	28,278	206	6,094人

※「その他」は観覧料免除者（手帳保有者若しくは要介護者とその介助者、引率者等）

※団体観覧は観覧者の内数

イ 投影内容（アの内数）

（ア）プラネタリウム一般番組

旭川の星空を中心に約 40 分の星座解説を行う。投影担当者がそれぞれ番組を自作し、生解説による投影を行っている。番組は季節の星座のほか、テーマに沿った天文現象の解説などを行う。

番組タイトル	テ ー マ	投影回数	観覧者数	投影期間
太陽の通り道と 12 星座	黄道 12 星座と太陽	52	934 人	4/1～4/30
夜明けの一番星	水星, 金星, 内惑星	134	2,714 人	5/1～7/15
恐竜はなぜ滅んだの？	流星や隕石と恐竜の絶滅	150	4,417 人	7/16～9/25
地球外生命体はきつとい る？	アンドロメダ銀河や木星, 土星の 話から地球外生命体存在の可能性	57	989 人	9/26～10/31
赤い月, 赤い星	月食と火星	89	1,291 人	11/1～12/29
シリウス	シリウス	87	1,024 人	1/2～2/26
太陽と月	太陽と月	53	1,069 人	3/1～3/31

（イ）プラネタリウム特別投影

a ドームシアター（全天周デジタル映像投影装置を利用した上映）

番組タイトル	内 容	投影回数	観覧者数
ネイチャーリウム 『オーロラの調べ』 神秘的な光をさぐる	アイスランドやアラスカで撮影したさま ざまなオーロラ映像のほか、オーロラが 光るしくみを CG で解説	309	9,266 人

b プラネタリウム幼児番組

幼稚園・保育所等の未就学児団体を主な対象に、物語を多く取り入れた 20 分前後の番組を製作・投影している。

番組タイトル	テ ー マ	投影回数	観覧者数	投影期間
わんわんわん	冬から春の星座, おおいぬ座, こいぬ座	50	1,406 人	4/1～4/30
よぞらのどうぶつえん	春の星座, 動物星座	94	3,367 人	5/1～6/29
なつのほしとたなばた	夏の星座, 七夕伝説	26	1,134 人	7/1～7/15
あのね, きょうりゅうさん	夏の星座, 隕石と恐竜の絶滅	130	6,070 人	7/16～9/25
かぐやひめ	秋の星座, かぐやひめの話	5	64 人	9/25～9/30
ほしぞらえいご☆せいざ のやかたのハロウィン	秋の星座, 惑星の話	48	1,703 人	10/1～10/31
クリスマスのふしぎ	冬の星座, クリスマスの話	80	2,150 人	11/1～12/25
ふゆのきょうだいぼし	冬の星座, ふたご座の話	87	2,492 人	12/27～2/26
わんわんわん	冬から春の星座, おおいぬ座, こいぬ座	52	1,832 人	3/1～3/31

c プラネタリウム学習番組

時間や天候などの制約が多い実天観測に代えて、プラネタリウムで天体の動きを見せながら解説することで、天文・宇宙に対する理解を促す。

番組内容	対象	投影回数	観覧者数
かげと太陽（太陽の動きと影のでき方）	小学3年生	4	149人
月と季節の星座（月の形と動き、季節の星座）	小学4年生	6	110人
月と太陽（月の満ち欠け）	小学6年生	10	348人
地球の動きと星の動き（自転・公転と天体の見かけの動き）	中学生	1	80人
太陽系と宇宙の構造（太陽系の惑星、銀河系など）		2	63人

d プラネタリウム特別番組

番組タイトル	内容	観覧者数	投影会日
目と耳の惑星	ホルストの組曲「惑星」と共に、宇宙旅行する映像や惑星探査機が写した画像などを投影する特別番組	70人	10/8
プラ寝たりうむ	11月23日の日の入りから翌日の日の出まで星空を回しながら環境音やBGMを流す特別番組	87人	11/23
クリスマスの星空	クリスマスソングに合わせて、旭川地域のクリスマスの星空や、南半球の星空を紹介する特別番組	26人	12/23
ジェームズウェッブ宇宙望遠鏡が見る宇宙	アメリカ航空宇宙局（NASA）が公開したジェームズ・ウェッブ宇宙望遠鏡の画像について解説する特別番組	147人	3/4, 3/12



ウ プラネタリウムの学校授業での活用

内容	参加者数	開催日
学校指導要領に沿った内容の「学習番組」を作成・投影	31人	11/11, 11/22

(2) 天文台事業

ア 天文台見学

内容	参加者数	開催日
昼間に見える星や月・惑星の観測	13,259人	4月~3月

イ 星の教室

内 容	参加者数	開 催 日
一度は見てみたい天文現象 ～彗星・日食・オーロラについて～	33 人	5/22
恐竜はなぜ絶滅したか？ ～6600 年前に起こった破滅的な大事件～	32 人	7/31
生き物と天体衝突の深いカンケイ ～絶滅・誕生・進化～	44 人	9/18
はやぶさ・はやぶさ2がひもとく隕石と太陽系の秘密	44 人	11/19
今年の天文現象 2023	43 人	1/29
第2の地球発見 ～太陽系外惑星に生命は本当にいるか？～	30 人	3/26

ウ 親子天文博士

内 容	参加者数	開 催 日
第1回 親子で天体望遠鏡の組立・設置・観測体験（月の観測）	14 人	6/5
第2回 親子で天体望遠鏡の組立・設置・観測体験（土星・月の観測）	21 人	9/4

エ 天体を見る会

内 容	参加者数	開 催 日
「春の星と月の観測」	25 人	4/16
「春の星と月の観測」	22 人	5/7
「春の星と月の観測」	17 人	5/15
「春の星と月の観測」	29 人	6/4
「春・夏の星の観測」	33 人	7/9
「七夕の星と月の観測」	40 人	8/7
「夏の星と土星の観測」	28 人	8/20
「夏の星と土星の観測」	34 人	8/27
「中秋の名月と土星・木星の観測」	42 人	9/10
「土星・木星・海王星・天王星の観測」	31 人	9/17
「土星・木星・海王星・天王星の観測」	36 人	10/15
「土星・木星・海王星・天王星の観測」	37 人	10/29
「皆既月食の観測」	41 人	11/8
「火星・土星・木星・海王星・天王星の観測」	29 人	11/19
「火星・木星・海王星・天王星・月の観測」	41 人	12/10
「火星・木星・海王星・天王星の観測」	37 人	12/17
「火星・天王星・月の観測」	38 人	1/28
「火星・天王星・月の観測」	37 人	2/25
「火星・月の観測」	50 人	3/25



白鳥座 アルビレオ

オ 出張天文教室

内 容	参加者数	開 催 日
令和4年度開催なし	—	—

カ 夏・冬休み天文教室

内 容	参加者数	開 催 日
夏休み天文教室	9人	8/1
冬休み天文教室	8人	12/27

キ コズミック・カレッジ

内 容	参加者数	開 催 日
ゴム動力飛行機の製作と試験飛行	10人	8/2
モデルロケットの製作と打ち上げ	10人	8/3

ク 天体を撮る会

内 容	参加者数	開 催 日
月面の撮影	15人	4/7～4/10

ケ その他の天文関係イベント

内 容	参加者数	開 催 日
星空ウォーク	2,329人	4/29～5/19

5 学校等連携・人材育成事業

(1) 学校等連携事業

ア 科学館体験学習

科学館利用団体の要望に応じ、サイエンスショーや理科実験・電子工作・木工工作・地学実習などのメニューを実施。

内 容	参加者数	開 催 日
「超低温の実験」, 「炎と爆発の実験」, 「元素のふしぎな実験」, 「科学マジック」, 「万華鏡づくり」など	1,029人	通年で実施

イ プラネタリウムの学校授業での活用 (再掲)

学 校	参加者数	開 催 日
上川中学校	14人	11/11
西神楽中学校	17人	11/22

ウ 巡回実験教室

団体からの要望に応じて職員が出向き、サイエンスショーや理科実験・工作などを行う。

内 容	参加者数	開 催 日
炎と爆発，超低温の実験，パタリン蝶，水生生物の観察	74 人	原則として整理休館日 (3 回実施)

エ 学校授業・課外活動の受け入れ

学校名	内 容	参加者数	開 催 日
旭川東高校	電子顕微鏡利用	3 人	8/13
附属旭川中学校	職場体験 (オンライン開催)	—	8/23
東陽中学校	職場体験	2 人	9/29

(2) 人材育成事業

ア 実習生の受入れ

博物館法施行規則第 1 条に基づき行われる学芸員の資格を得るために必要な博物館での実習を，旭川市博物館と一体的に実施。実習の一環でサイエンスショーの実演を行った。

実習生の受入人数：8 人

実 習 日：8/19～8/21

内 容	参加者数	開 催 日
大学生のサイエンスショー	149 人	8/21

6 ボランティア事業

科学のおもしろさや学ぶ楽しさを，子供たちに伝えたいという人たちが参加する団体「サイエンスボランティア旭川」による，旭川市科学館の事業運営のサポート及び科学の普及活動。

(1) 概要

ア 団 体 名 サイエンスボランティア旭川

イ 代 表 者 鈴木 紘一 (令和 4 年度)

ウ 設立年月日 平成 16 年 5 月 15 日

エ 登録会員数 82 名 (うち事務局員 6 名，特別学芸員 47 名) ※令和 5 年 3 月末日現在

(2) 令和 4 年度従事者数 (半日単位)

月	従事日数	延べ従事者数	月	従事日数	延べ従事者数
4 月	25 日	279 人	10 月	25 日	281 人
5 月	25 日	271 人	11 月	25 日	302 人
6 月	25 日	314 人	12 月	25 日	279 人
7 月	29 日	387 人	1 月	22 日	265 人
8 月	31 日	397 人	2 月	23 日	273 人
9 月	25 日	314 人	3 月	27 日	345 人
			合計	307 日	3,707 人

※従事日数のうち，臨時休館中は事務局のみ

(3) 活動の内容

科学館の運営及び事業の支援	常設展示機器運営・サポート・展示案内・説明・レファレンスルーム管理ほか
自主事業の企画・実施	「日曜ワークショップ」, 「大人の教室」, 「学生の科学展」等の開催
ミュージアムショップ関連	科学館1階ミュージアムショップの一部でオリジナル商品を販売

(4) 自主事業

内 容	参加者数	開 催 日
日曜ワークショップ	524人	5/15, 5/22, 5/29, 6/5, 6/12, 6/19, 6/26, 11/13, 11/20(2回), 12/4, 12/11, 1/15, 1/29, 2/5, 2/19 (計16回)
(春休み) かんたん工作	291人	4/2, 4/10, 3/28, 3/29, 3/30, 3/31 (計6回)
大人の教室	61人	7/9, 8/6, 11/2, 12/1, 1/26, 2/23, 3/7 (計7回)
出前ワークショップ	17人	8/6
旭川学生の科学展 2023	1,783人	1/23

※「出前ワークショップ」については、科学館利用者数として計上していない



ミツバチから見る旭川環境

(5) 問合せ先

【サイエンスボランティア旭川事務局】

〒078-8391 旭川市宮前1条3丁目 旭川市科学館内

TEL 0166-31-3016 FAX 0166-31-3310

ホームページ <http://asascience.blog.fc2.com/>

E-mail science_asahikawa@yahoo.co.jp

Ⅲ その他の取組

1 調査研究活動

(1) 太陽黒点や惑星・月などの天体観測

内 容	回 数	観測日
太陽黒点	115	4月～3月
恒星撮影（シリウスの伴星観測ほか）	4	4月～3月
月食観測	1	11/8
月面撮影	4	4/7～4/10
流星群観測	15	4月～3月
星食観測（天王星食）	1	11/8

(2) 野外自然観察空間の生態系調査（隔年実施）

（単位：種）

年度		2008年 (H20)	2010年 (H22)	2012年 (H24)	2014年 (H26)	2016年 (H28)	2018年 (H30)	2020年 (R2)	2022年 (R4)
植物	植樹地	75	68	67	61	66	68	69	92
	池周辺	56	33	35	37	40	56	28	25
昆虫		54	134	153	118				
鳥類		13	16	18	10				
小型哺乳類		2	3	1	1	2	0	0	

2 刊行物

(1) 旭川市科学館報（令和3年度版） 令和4年6月発行，全30頁

- ア 旭川市科学館の概要
- イ 学習普及活動の内容
- ウ 調査研究活動/情報提供活動など
- エ 旭川市科学館利用案内

(2) 旭川市科学館研究報告第18号／旭川市博物館研究報告第29号

令和5年3月発行，全37頁（うち科学館研究報告29頁）

- ア 石狩川水系忠別川におけるサクラマスとシロザケの産卵床数の2022年の記録
- イ 旭川市科学館におけるメイカースペースの取組
- ウ 職員の創意工夫による錯覚いろいろコーナーの設置について
- エ 旭川市科学館野外自然観察空間の生態系調査について
- オ 旭川市内における特定外来生物ウチダザリガニの生息状況に関する2022年までの調査結果について

(3) 北における天文略表 令和5年1月発行，全23頁

- ア 日の出・入と薄明時間
- イ 月の出・入と月齢
- ウ 2023年の主な天文現象 ほか

3 広報活動

- (1) 広報誌「こうほう旭川市民あさひばし」での事業案内、利用案内等の掲載
- (2) 新聞・テレビ・ラジオ・雑誌等報道機関その他媒体への情報提供、取材対応
- (3) 科学館利用案内リーフレット、パンフレット等の配布
- (4) 各種事業のチラシを市内及び近郊の小中学校、公共施設等に配布
- (5) ホームページやSNSを通じて利用案内や事業情報等を発信
- (6) 「旭川市科学館報」の発行、配布
- (7) 館内に事業活動を紹介するコーナーの設置
- (8) YouTube サイパルチャンネルを動画で配信

		動画作成数			当年度再生数		
		新規	過年度	合計	新規動画	過年度動画	合計
令和4年度	実験	10 番組	43 番組	53 番組	3,337 回	24,245 回	27,582 回
	工作	—	25 番組	25 番組	—	13,694 回	13,694 回
	常設展示室	1 番組	3 番組	4 番組	129 回	1,851 回	1,980 回
	展示	2 番組	—	2 番組	922 回	—	922 回
	プラネタリウム	3 番組	20 番組	23 番組	10,926 回	13,602 回	24,528 回
	ライブ配信	—	15 番組	15 番組	—	246 回	246 回
	ワークショップ	—	5 番組	5 番組	—	799 回	799 回
	講演	2 番組	—	2 番組	586 回	—	586 回
	合計	18 番組	111 番組	129 番組	15,900 回	54,437 回	70,337 回

1日あたり平均視聴回数：193回 チャンネル登録者数：998人 平均視聴時間：2分10秒



テック・ラボ 公式Twitter



YouTube サイパルチャンネル

4 旭川市科学館施設整備基金

- (1) 設置目的 旭川市科学館の展示施設の整備及び科学館事業に必要な経費の財源に充てるため
 (2) 設置年月日 令和3年2月25日
 (3) 根拠条例 旭川市科学館施設整備基金条例（令和3年旭川市条例第4号）
 (4) 残高等の推移 (単位：円)

年度	前年度末 現在高	新規寄附金	運用 利子	取崩額	年度末 現在高	取崩の用途
R2	—	14,000,000	10	0	14,000,010	
R3	14,000,010	1,788,729	9,100	12,350,696	3,447,143	常設展示整備（いまの地球とみらいの地球，錯覚いろいろコーナー），テックラボ新設
R4	3,447,143	61,639,566	752	841,937	64,245,524	特別展開催費負担金，常設展示整備等

- (5) 寄附件数の推移 (単位：件)

年度	ふるさと納税	直接寄附	募金箱※1	件数計
R2	—	1	—	1
R3	211	1	1	213
R4	225	1	1	227

※1 件数確認不能のため年度で1件とした

IV 旭川市科学館利用案内

1 開館時間・休館日

- (1) 開館時間 午前9時30分から午後5時まで（観覧のための入館は午後4時30分まで）
 (2) 休館日
 【毎週月曜日】 当該日が祝日に当たるときは，休日を経過した最初の平日
 【年末年始】 12月30日から翌年1月4日まで ※1月2日（月）は臨時開館
 【毎月末日】 土日祝日に当たるときは，その月末の平日
 ※12月29日（木）及び3月31日（金）は臨時開館

2 観覧料

中学生以下の観覧料は無料。大人・高校生の観覧料は次のとおり。

(1) 1日または1回の料金

科学館		博物館	観覧料 (円)			
常設展示室 (1日)	プラネタリウム (1回)	常設展示室 (1日)	大人		高校生	
			個人	団体	個人	団体
●	—	—	410	320	280	210
—	●	—	330	260	220	170
●	●	—	520	410	350	280
●	—	●	530	430	350	280
—	●	●	470	370	310	240
●	●	●	760	620	510	400

※団体料金は、同じ料金区分の者が20名以上の場合に適用

※次に該当する者の観覧料を免除

ア 身体障害者手帳・療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方と介助者
(介助対象者と同人数まで)

イ 介護保険法に定める要介護者及びその介助者(介助対象者と同人数まで)

ウ 学校の児童生徒等を引率する教員又は一般団体引率者の方(1/10の人数まで)

※次に該当する者の観覧料を5割減額

ア 旭川市、鷹栖、東神楽、当麻、比布、愛別、上川、東川、美瑛各町在住の満70歳以上の方

イ 旭川市、鷹栖、東神楽、当麻、比布、愛別、上川、東川、美瑛各町の高校に通学又は在住する高校生20名以上の団体

※特別展・企画展については、その都度実行委員会が定める額

(2) 年間パスポート

対象施設を何度でも観覧できるパスポートを販売している。(有効期間：利用開始日から1年間)

種類	対象施設	料金(円/枚)		販売場所			
		大人	高校生	科学館	博物館	旭山動物園	市内公共施設売店
科学館パスポート	常設展示室 プラネタリウム	1,040	660	●	●	—	●
博物館・科学館 共通パスポート	常設展示室 プラネタリウム 博物館(常設展示)	1,560	1,040	●	●	—	●
動物園・科学館 共通パスポート	常設展示室 プラネタリウム 旭山動物園	2,230	—	●	—	●	●



科学館パスポート



博物館・科学館
共通パスポート



動物園・科学館
共通パスポート

3 貸室事業

1階の「特別展示室」と「学習・研修室」を、科学館事業等で使用しないときに、学会や市民団体等の各種イベント会場として貸出している。

(1) 貸室使用料

使用区分		時間区分		午 前	午 後	全 日
				9時30分～13時00分	13時30分～17時00分	9時30分～17時00分
特別展示室	全室			6,110円	6,110円	12,220円
	1/2室			3,050円	3,050円	6,110円
学習・研修室	全室			4,860円	4,860円	9,720円
	1/2室			2,430円	2,430円	4,860円

※使用時間に参加者受付等に要する時間を含む

※準備、原状回復（会場設営、回復、搬出、搬入）に使用する場合は上記料金の5割に相当する額。

※冷房料（7/1～8/31）及び暖房料（11/1～翌年4/30）を別途徴収

※使用者の過半数が30歳未満で、かつ公共的・公益的な活動を目的として使用する場合は使用料の5割を減免

(2) 令和4年度の使用実績

使用区分		時間区分		午 前	午 後	全 日
				9時30分～13時00分	13時30分～17時00分	9時30分～17時00分
特別展示室	全室			0件	0件	9件
	1/2室			0件	0件	0件
学習・研修室	全室			1件	6件	8件
	1/2室			1件	1件	0件

※科学館事業による使用実績を除く

4 施設へのアクセス

起点	交通手段	路線等
J R旭川駅 (27 番乗り場)	徒歩 25 分	—
	バス (「科学館前」下車)	①旭川電気軌道バス 82 番線 「南高前行き」乗車 ②旭川電気軌道バス 83 番線 「共栄バスセンター行き」乗車 ③旭川電気軌道バス 84 番線 「共栄バスセンター行き」乗車
1 条 8 丁目 (17 番乗り場)		旭川電気軌道バス 33 番線 「共栄バスセンター行き」乗車
J R 旭川四条駅	徒歩 15 分	—
旭川空港	バス (「宮前通東」下車) 徒歩 5 分	・旭川電気軌道バス 77 番線 「旭川市内行き」
その他	自動車	・旭川鷹栖 I. C. から約 25 分 ・旭川北 I. C. から約 45 分



令和4(2022)年度版
旭川市科学館報 Vol.15
令和5年6月発行

発行者 旭川市科学館
旭川市科学館 〒078-8391 旭川市宮前1条3丁目3番32号
TEL 0166-31-3186 FAX 0166-31-3310
ホームページ <http://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/science/>
メールアドレス kagakukan@city.asahikawa.lg.jp

旭川市科学館ホームページ



旭川市科学館
(Twitter)



サイパルチャンネル
(YouTube)



旭川市科学館天文チーム
(Twitter)



テック・ラボ
(Instagram)



テック・ラボ
(Twitter)

